

バイオマス利用のバイオエタノール製造

— その課題 —

1名分料金で
2人目無料

- ◆日時:【オンライン】2026年1月20日(火) 13:00~16:30
【アーカイブ】2026年1月22日(木)~1月29日(木)
 - ◆形式:ZoomによるWEB配信(自宅や職場のPCで受講可)
 - ◆聴講料:1名につき44,000円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき33,000円(税込)
 ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で44,000円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

HPはこちらから ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2601103>

[講師] 本間技術士・特許事務所 代表 本間 憲之 氏 ※元 三井E&S(株)【旧 三井造船(株)】

[受講対象]

- ・バイオマスを利用したバイオエタノール製造その他の事業を計画している方
- ・温室効果ガスの削減問題を考えている方

[習得できる知識]

- ・ライフサイクルでの温室効果ガス排出を評価するときの考え方
- ・バイオマス利用における技術的な課題
- ・バイオエタノールを製造するときの課題

[講座のポイント]

再生可能エネルギー一つとして捉えられているバイオマス原料のバイオエタノール製造事業を検討する場合の課題について考察する。
 温室効果ガス削減のための技術としては、近年太陽光発電や風力発電が大きな話題となっている。しかし、太陽光や風力からは電気しか得ることができないのに対し、バイオマスは直接熱エネルギーとして利用できるだけでなく、バイオエタノールとして液体燃料として利用でき、化学品の原料ともなり得るカーボンニュートラルな資源である。また、バイオマスは資源の量としても人類の利用を満了すだけの量が賦存しているとされる。
 本セミナーでは、バイオマスを利用したバイオエタノール製造の技術やコストにおける課題を中心テーマとして、バイオマスを利用しようとする際に、検討しなければならない点について考察する。その上で、関連技術の開発動向についても紹介する。

[プログラム]

- 化石エネルギーからの転換
 - CO2と気候変動
 - CO2濃度と気温上昇との関連
 - 古気候学からみたCO2と気候変動

【質疑応答】

※職場や自宅のPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法などは申込後にご連絡いたします。

『バイオエタノール』セミナー申込書 ※ご希望の受講形式どちらかにチェックを入れて下さい⇒オンライン アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書などをお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送